



公益社団法人  
日本左官会議  
The Sakan Plastering Council of Japan

——その終焉がもたらすもの

# 職人がいる町、 塗り壁の ある暮らし

連続シンポジウム 福岡編

つい30年くらい前まで、日本の壁といえば左官の壁だった。庶民の家もお金持ちの家も、そば屋も旅館も、学校や役所だって、左官が壁を塗っていた。それらが急速に姿を消していった。多くの左官は廃業し、後継者はいなくなっていく。はたして、左官はもう終わりなのか？日本人はもう左官を必要としていないのか？日本左官会議の連続シンポジウム。一緒にお考えいただけたら幸いです。



大正期に建てられた町家を改修した「奈良町宿・紀寺の家」。  
撮影／喜多章 コンフォルト 145号（建築資料研究社）より

2018年11月3日(土・祝)

九州大学伊都キャンパス 稲盛ホール

福岡市西区元岡 744 九州大学伊都キャンパス稲盛財団記念館 1階

14:00~16:30 シンポジウム

協賛会社等展示ブース開場・シンポジウム受付 12:30より

【入場料】 一般 1,500円 日本左官会議会員・学生 1,000円

伊都キャンパス完成  
2018年9月

共催 九州大学  
協力 アジア景観デザイン学会

挾土秀平	左官・職人社秀平組
荒木富士男	左官・富士工舎
原田進	左官・原田左研
小林隆男	左官・江州左官土舟
川口正樹	左官・左官川口
道下幸二	左官・道下組
荒木新二	左官・ <sup>なしい</sup> 巧新
高木正三郎	建築家・九州大学非常勤講師

主催／公益社団法人日本左官会議  
特別協賛／田川産業  
協賛／石蔵商店、上村建陶、河北本店、建築資料研究社、四国化成工業、善徳丸建材、内外テクノス、西日本ダントー、日本玉石、伸建築、フジワラ化学、丸京石灰、ヤブ原  
協力／福岡県建築士会、福岡県左官業組合連合会